

「深い学びの実現とネットワーク事業」

指導・講評

講師 尾木 和英 先生 東京女子体育大学名誉教授



1 新学習指導要領の重点

① 社会に開かれた教育課程の実現

*より良い学校教育を通してより良い社会を創るという理念を学校と社会が共有

② 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

- ・知識を相互に関連付ける
- ・知識を精査して考えを形成する
- ・問題を見出して解決策を考える
- ・思いや考えをもとに創造する

新学習指導要領総則 第三教育課程の実施と学習評価による

③ 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成

④ 教科等横断の視点

⑤ 生涯にわたって能動的に学び続ける力

⑥ すべての教科等で、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等の三つの柱を根底において授業改善を目指す

2 学校支援ネットワーク事業と教育活動改善

① 主体的な学び・・・問題の発見と解決

② 対話的な学び・・・協働の学びの成立

③ 現在および将来の自己実現に結びつく学び

各教科等で習得した知識や考え方を活用し、問いを見出して解決したり、自己の考えを形成し表わしたり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう学び。

3 学校支援ネットワーク事業とカリキュラムマネジメント

① 効果的な教育計画

② PDCA

③ 教育活動に必要な体制の整備

*ネットワークの重要性

*キャリア教育に結びつく指導体制

略歴 東京都教育委員会多摩教育事務所指導課長、東京女子体育大学教授、文部科学省視学委員等を経て東京女子体育大学名誉教授。その間に中央教育審議会専門委員、教育課程審議会教科等別委員、学習指導要領改善調査研究協力者、不登校問題調査研究協力者、生徒指導提要作成協力者、国立教育政策研究所学校改善プロジェクト専門委員等を務める。

著書・編著書に「自己指導能力を育てる」(ぎょうせい)、「自己指導力・社会性を育てるPDCA」(教育開発研究所)、「学校力」「評価で変わる国語の授業」(三省堂)、「思考力を育てる論理科の試み」(明治図書)、「教育改革・学校改革キーワード200」(学事出版)等がある。